

会派の主張

(本会議の
質問など)

二面から四面の内容は
各会派が責任をもって
掲載しています。

公明党

代表質問 西田 和彦
個人質問 吉田 聖子
個人質問 菱田 英継

大震災を教訓に地域防災計画の再検討、見直しを！ 高齢者を支え合うまちづくりの推進を！

―高齢者を支え合う―

まちづくりを(西田)―

問 これからのまちづくりは市民による支え合い活動が重要になる。高齢者支え合いのまちづくり事業が角田総合老人センターでどのように事業展開を行い、高齢者支援の役割を担っていくのか、見解を示せ。

福祉部長 高齢者みずからが地域安全生活サポーター、介護予防活動やボランティア活動など支え合い活動に取り組めるよう、人材育成と活動へのコーディネートを行うなど、高齢者を中心とした市民による支え合い活動の全体的な拠点として

事業展開をしていく。

―中学校給食の検討状況について(西田)―

問 中学校給食の実施導入について、これまでのさまざまな経過を踏まえ、現状並びに今後について、見解を示せ。

学校管理部長 中学校給食検討委員会を設置し検討しており、多くの財源の確保等の課題もあり、本市の財源状況を勘案し、今年度中に一定の方向を示していく。

―小学校の暑さ対策充実を(西田)―

問 小学校の暑さ対策として、四校にミスト装置を設置済みであるが残り五十校

にも設置すべきであると考え、見解を示せ。

教育総務部長 ミスト装置設置には校舎の広範囲にわたるエリアが想定され、耐震化工事にも影響することから、夏に向け手法、手段がより効率的な整備となるかを検討していく。

―ブックスタート事業の早期実施を(吉田)―

問 親と子との絆を深め、子どもの豊かな心や、国語力を育てる赤ちゃんの時から、絵本の読み聞かせを啓発する、ブックスタート事業は、現在大阪府下の八割の市町村で実施されている。本市においても、一日

日本共産党

代表質問 内海 公仁
個人質問 浅野 耕世
個人質問 上原 賢作

中小企業振興基本条例の制定で揺るぎない支援を！ 子どもたちの成長育む環境整備を！

子どもたちの成長育む環境整備を！

も早い実現を強く望むものであるが、乳幼児健康診査時に行う本市独自のブックスタート事業の体制整備に向けてどう考えているのか。

社会教育部長 実施には至っていないが、今後ボランティア団体にも協力してもらうための研修等に取り組み、本市独自のブックスタートを検討し、早期の実現に向け取り組んでいく。

―大震災の教訓を踏まえた防災対策について(菱田)―

問 問題点として、家族等の安否確認が困難であったこと、また、被災後の生活立て直しに必要な「り災証明書」の発行に時間を要したこと等が挙げられる。これらの解決のため、被災直後に必要とする機能の全てを含んでいる「被災者支援システム」導入の考えは。

危機管理監 今後、防災行政無線デジタル化を含めた総合的な防災システムの構築にあわせて積極的に導入を検討する。

―ワクチン接種補助の継続を(吉田)―

問 子どもを感染から守るワクチン接種は費用の高さがネックになり接種率の低下を招いていたが、公費補助により接種率は上昇した。補助事業の継続を望む強い要望もある。是非継続を。

健康部長 国の臨時特例交付金を活用し、ワクチン接種に係る実費相当額の費用負担を行っているが、平成二十四年三月までとなっていることから、国に対して定期接種への移行及び財政的な措置を要望している。

市民サービスの継続性から平成二十四年度も必要な事業と考え、関係部局と調整を進めている。

―避難所である学校施設設の防災機能強化について(菱田)―

問 地震発生の対応を迅速に行うため、学校への緊急地震速報システムの導入は。

教育総務部長 文科省からの補助金の活用を基本に配備を検討したい。

問 避難所を円滑に運営するためには、学校ごとの避難所対応マニュアルを作成すべき、またそれを目指す上で、より効果的な取り組みとして避難所運営の体験型訓練を実施してはどうか。

危機管理監 学校ごとの対応マニュアル作成については前向きに検討するとともに、体験型訓練についても避難所配備職員と自主防災

組織が連携して実践できるように検討する。

―防災計画の見直しを求める(西田)―

問 東日本大震災を機に、近い将来に発生すると言われている東海、東南海、南海地震が連動して起こる三連動地震への対応として、本市の地域防災計画の被害想定時の市職員の配置計画は明確になっているのか、見解を示せ。

危機管理監 本市地域防災計画において被害調査班や避難所班などの防災体制班を明確にし、災害時にスムーズに活動が行える体制をとっている。



消防出初式では万一に備え本番さながらの放水訓練が行われました。(吉田春日公園)